

令和7年度 昭和村教育委員会の点検及び評価報告書 (対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和7年8月 昭和村教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、令和6年度の昭和村教育委員会の活動状況及び重点施策について、このほど点検及び評価を行いましたのでその結果を報告いたします。

1 実施の方法

(1) 評価シートの作成

ア 評価の対象事業

評価の対象とする事業は、昭和村教育振興基本計画の重点施策とします。

イ 事業の（自己）評価

教育委員会事務局で次の4段階に評価します。

- A 十分成果が上がっている
- B 成果が上がっている
- C 改善の余地が多い
- D 抜本的な見直しが必要

上記の結果を踏まえ、今後どのように事業を進めるかを決めます。

- ☐ さらに重点化する
- ☐ 継続実施する
- ☐ 改善見直しを検討する
- ☐ 休止、廃止を検討する

(2) 教育行政評価委員の意見、助言

教育行政評価委員会議を開催し、教育委員会事務局が自己評価した事務事業について意見や助言を受けることで、評価の客観性や精度を高めます。

◎ 教育行政評価委員（任期：令和7年7月1日～令和8年3月31日）

高橋 侑也 （昭和村保育所保護者会長）

菅家 実 （昭和小学校PTA会長）

菅家 博之 （昭和中学校PTA会長）

羽染 としの（昭和村主任児童委員、元教育委員、元社教指導員）

舟木 秋広 （下中津川区長、元教育委員）

◎ 会議の開催日 令和7年7月23日（出席：4人、欠席：1人）

第1 教育委員会の活動状況

- 1 会議の開催状況 定例会 12回
 臨時会 0回

(1) 議案の審議

月日	番号	議 案 名
4月4日	8	昭和村学校教育指導委員の委嘱について
	9	奨学生選考委員会委員の委嘱について
	10	昭和村教育支援委員会委員の委嘱について
	11	昭和村社会教育委員の委嘱について
	12	昭和村文化財保護審議会委員の委嘱について
	13	昭和村スポーツ推進委員の委嘱について
5月9日	14	昭和村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	15	昭和村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
6月6日	16	昭和村教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価要綱の全部改正について
	17	教育行政評価委員の委嘱について
	18	昭和村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	19	就学援助費支給認定について
	20	令和6年度昭和村一般会計(教育委員会関係)補正予算について
7月18日	21	令和7年度使用小学校教科用図書の採択について
	22	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
	23	令和7年度使用学校教育法附則第9条の規定による絵本等の一般図書の採択について
9月5日	24	昭和村教育委員の辞職について
	25	昭和村教育委員の任命について
	26	昭和村教育委員の任命について
	27	令和6年度昭和村一般会計(教育委員会関係)補正予算について
11月7日	28	令和6年度昭和村総合教育会議の議事内容の確認について
12月5日	29	昭和村教員宿舍管理規則の一部を改正することについて

	30	令和6年度昭和村一般会計(教育委員会関係)補正予算について
	31	昭和村教育委員の任命について
令和7年	1	昭和村学校給食弁当代替者対応助成金交付要綱について
1月9日	2	令和7年度昭和村一般会計予算要求(教育委員会関係)について
2月6日	3	令和7年度昭和村一般会計(教育委員会関係)予算について
3月6日	4	令和6年度昭和村一般会計(教育委員会関係)補正予算について
	5	教職員異動の内申について
	6	昭和村教員宿舍入居のしおりについて

※備考：7月4日と10月3日の定例会では議案の提出はありませんでした。

(2) 協議事項

月日	件 名
4月4日	1 昭和村教育振興基本計画の進捗等について 2 教育委員の学校及び社会教育施設の訪問について

(3) 報告事項

月日	件 名
4月4日	1 村指定文化財について 2 令和6年度教育課程編成届について 3 教育委員会事務局事務分掌について 4 小中学校校務分掌について
5月9日	1 令和5年度昭和村一般会計(教育委員会関係)補正予算について
6月6日	1 昭和村教員宿舍新築工事請負契約の締結について
7月4日	1 昭和村小野川生涯学習センターの状況について 2 令和6年度昭和村成人式の実施について 3 令和6年度教育委員・教育長研修会の開催について
9月5日	1 昭和村教育委員会の点検及び評価報告書について 2 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について 3 令和6年度第3回昭和村議会定例会の一般質問(教育委員会関係)について

10月3日	1	令和5年度昭和村一般会計(教育委員会関係)決算について
11月7日	1	ふくしま駅伝希望ふくしまチーム選手選考結果について
12月5日	1	令和6年第4回昭和村議会定例会の一般質問(教育委員会関係)について
令和7年		
1月9日	1	令和7年度昭和村立学校入学予定者について
2月6日	1	工事請負変更契約について
	2	令和6年度学校給食における地場産物の活用状況調査結果について
3月6日	1	国登録有形文化財(建造物)への登録について
	2	昭和村拠点施設(役場庁舎、教育関連施設)整備について

2 学校及び社会教育施設の訪問状況

施設名	訪問日	訪問内容
昭和村立昭和小学校	6月6日	授業参観、学校経営について意見交換
昭和村立昭和中学校	5月9日	授業参観、学校経営について意見交換
昭和村公民館	毎月1回	事務事業の実施状況
昭和村学校給食センター	未実施	
昭和村小野川生涯学習センター	7月4日	施設の活用状況と民具の整理状況

3 研修会参加状況(単位:人)

	全国	東北	県	会津	両沼	村
教 育 長	1		1		1	
教育委員			2	1	4	

4 教育委員会の体制（令和7年3月31日現在）

教 育 長	栗 村 良 輔	就任：令和 4年 5月21日
教育委員 (4名)	五十嵐 麻裕子 ※ 職務代理者 小 林 さや香 (五十嵐 吉 弘) 涌 井 一 統 (本 名 敬) 五十嵐 美智保	就任：平成29年10月 1日 就任：令和 6年 4月 1日 (退任：令和 6年 9月30日) 就任：令和 6年10月 1日 (退任：令和 6年11月16日) 就任：令和 6年11月17日

事務局（(兼)昭和村公民館）

教育次長(兼)公民館長(兼)学校給食センター所長	栗 城 進 也
教育係長(兼)学校給食センター給食係長	鵜 川 洸 一
主 査	五十嵐 正 富
主 事	菅 家 良 太
社会教育指導員(会計年度任用職員)	鈴 木 千江美

教育行政評価委員の意見、助言	教育委員の研修会は、情報交換 と懇親を深める良い機会なので、 積極的に参加してほしい。
----------------	--

第2 昭和村教育委員会の重点施策

昭和村教育振興基本計画（令和5年度～令和7年度）より抜粋

1 学校教育

- ① 教育支援、教職員の確保と資質能力の向上
- ② 小中連携教育、小中一貫教育の推進
- ③ 豊かな人間性を育む教育
- ④ 特色ある教育活動の推進
- ⑤ 教育環境の整備充実
- ⑥ 心地よく子どもを育てられる環境づくり
- ⑦ 安全、安心な学校給食の充実

2 社会教育

- ① 小学校や保健福祉課、老人クラブ等と連携し、好奇心と実体験を大切に楽しく学べる機会を創出し、子どもの育成を図るため少年教室を企画運営する。
- ② 生涯学習講座、千歳学級を開催し、村民の学習ニーズに沿った講座等を開催することにより積極的な学習を促す。
- ③ 昭和村民文化祭を開催し、作品展や芸能発表など練習してきた成果を発表する場を設ける。芸術鑑賞会では、演劇と音楽の公演を隔年で開催し、芸術文化に触れる機会を設ける。
- ④ 昭和村文化協会加盟団体には、広域的な文化芸術祭である「会津西部総合演芸大会」や「会津西部巡回美術展」等への参加も促し、団体が積極的に活動できるよう支援する。
- ⑤ 村民が読書に親しみ、書物を通して多様な学びができるよう、図書室の蔵書の充実を図り、併せて電子図書館サービスの導入を図り、読書の普及と推進に努める。

3 生涯スポーツ

- ① スポーツ推進委員と協力し、昭和村総合運動会をはじめとする各種スポーツ大会や、福島県地域スポーツ大会、市町村対抗野球大会、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会等への村民の参加を促すとともに、日頃からスポーツに親しむ機会を創出す

る。

- ② 昭和村運動広場（グラウンド、テニスコート等）の管理・運営と安全確保に努め、利用の促進を図る。

4 歴史・文化

- ① 昭和村文化財保護審議委員会の活動の充実を図り、村指定文化財の巡視、点検の他、新たな指定に関する検討及び村内の文化財や遺跡等の調査と保護を行う。
- ② 国指定天然記念物「駒止湿原」は、南会津町及び駒止湿原保護協議会並びに駒止湿原案内の会と連携し、管理と整備を行いながら保護と活用を図る。
- ③ 福島大学等の動植物及び生態系を研究している専門家と連携し、村天然記念物で県自然環境保全地域「矢ノ原湿原」の調査や保護を行う。
- ④ 大学等と連携し、昭和村小野川生涯学習センターに保管してある民具の整理、保存及び活用を検討する。

5 国際理解

- ① A L Tの配置
- ② ブリティッシュヒルズ英語研修の実施
- ③ 生涯学習「英会話教室」開催

6 重点施策の事業評価

- ・ 重点施策の事業評価シートのとおり。（次のページから）

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-①

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	① 教育支援・教職員の確保と資質能力の向上		
事業の目的	○ 複式学級の実質的解消と特別支援学級の創設を含めた特別支援教育の充実を図る。 ○ 子どもの人生に良い影響を与えられる優れた教職員の確保に努める。 ○ 全教職員と一緒に研修を深め、資質向上を図る。 ○ 幼少期から英語学習に主体的に取り組み、多様な価値観を受入れて豊かに自己表現できる、世界に通用する国際人を育てる。		
事業の計画、内容	○ 昭和小学校に3人の複式支援講師（会計年度任用職員）を配置する。 ○ 特別な支援が必要な児童に対する施策の充実を図る。 ○ 昭和村学力向上推進体制による小中連携や小中学校授業研究会を開催し、教職員の資質向上を図る。 ○ 外国語指導助手（ALT）による英語教育の充実を図る。		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	18,816 千円	13,733 千円	・会計年度任用職員とALTの人件費 ・特別支援学級用教室の改修費
実績・成果 （数値等）	◎ 複式支援講師は令和5年度からの継続2人と、新規1人の計3人を雇用し、児童の学習支援が図られた。 ◎ 令和6年度には、昭和小学校に特別支援学級（情緒障がい学級）が開設され、支援が必要な児童の教育環境を整えることができた。 ◎ 学力向上のための小中学校授業研究会は計画どおり2回開催し、教職員の資質向上を図るとともに児童生徒の学力向上にもつながった。 ◎ 外国語指導助手は1人を雇用して授業の支援を行い、英語力向上が図られた。		
事業の （自己） 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価 委員の意見、 助言	児童生徒の英語教育は重要なので、外国語指導助手の雇用は継続してほしい。
------------------------	-------------------------------------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-②

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	② 小中連携教育・小中一貫教育の推進		
事業の目的	○ 中学校の専門教員による小学校への乗り入れ授業をはじめ、小中合同の文化祭を開催。 ○ 小中一貫教育として実績のある学校への視察研修を行い、村ならではの教育を議題とした話し合いを行い、教職員及び保護者を含めた村民の意識の向上を図り、小中一貫教育への相互理解を深め、より一層の推進を図る。		
事業の計画、内容	○ 中学校の専門教員による小学校への乗り入れ授業を実施する。 ○ 小中連携教育の推進のため、小中合同の文化祭を開催する。 ○ 保育所・小学校・中学校・学校給食センターが一体となった新たな教育施設建設に向けた基本構想、基本計画の策定に着手する。		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	0 千円	10 千円	特になし
実績・成果 (数値等)	◎ 中学校の教員による小学6年生の理科と外国語の乗入れ授業は、理科が週3日、英語は週2日行った。その効果は学力テストの結果に表れている。 ◎ 小中合同の文化祭は11月2日に開催し、村民へ小中連携の取り組みの成果を発表することができた。 ◎ 令和6年度から小中連携推進事業として小、中学校自由参観ウィークを夏と秋に開催し、児童生徒の様子や、授業の様子を広く村民に理解してもらう良い機会となった。 ◎ 新たな教育施設建設は、村の方針として役場庁舎の新築と総合的に整備を行うことになり、教育委員会で予定していた計画では進めることができなかった。		
事業の (自己) 評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	達成できている(5) ☒ おおむね達成できている(3) 達成できていない(1)		
	15 3		
	B (成果が上がっている)		
事業の方向性	☒ さらに重点化する	☐ 継続実施する	☐ 改善見直しを検討する
	☐ 休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	小中学校自由参観ウィークでは、中学校の参観者が増えるよう、小学校のような工夫をしてみてもどうか。
----------------	---

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-③

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	③ 豊かな人間性を育む教育		
事業の目的	○ 自ら学び自ら考える力を獲得させることにより、「確かな学力を身に付け、自己実現を図ることができる児童生徒」を育成する。 ○ 少人数教育の利点を生かし、一人一人の個性や適性に応じた指導を工夫することにより、より良い社会生活を営むことができるよう人間性の向上に努める。 ○ オンライン等を活用しながら、合同郷土学習や、他校との交流学习を積極的に推進する。		
事業の計画、内容	○ ICT機器（児童生徒1人1台タブレット、電子黒板など）を効果的に活用し、個別最適化された教育の充実を図る。 ○ ICT教育を効率的かつ効果的に活用できるよう、小、中学校に定期的に支援員を派遣して学校教育現場の支援を行う。		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	4,779 千円	6,904 千円	デジタル機器の維持管理費 ICT支援員の業務委託料
実績・成果 (数値等)	◎ 各教科毎にタブレット端末と電子黒板、デジタル教科書を組み合わせた授業や、学習支援ソフト（タブレットドリル、すらら、学びポケット）を活用して家庭学習などを行った。また、児童や生徒自らも学級活動や児童会、生徒会活動などに積極的に活用している。 ◎ ICT支援員は小学校、中学校合わせて年間約90回学校へ出向き、システムや端末機器の使用方法及び活用のサポートを行って、円滑な授業の実施につながった。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	ICT機器を活用した授業を参観したが、簡単に調べ物ができて楽しそうだが、苦労して結論を導き出すことも必要ではないかと感じた。
----------------	--

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-④

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	④ 特色ある教育活動の推進		
事業の目的	○ 昭和村の豊かな自然に親しみ、体験を通して学習意欲の元となる好奇心を伸ばし、郷土の自然を守る心を養う。 ○ 昭和村の特色ある産業（米や野菜、カスミソウ栽培等の農業、からむし織等の伝統産業）とその流通等について学び、郷土愛と誇りを持ち、村の将来の在り方についても考えることのできる人財を育てる。		
事業の計画、内容	○ 小学校と中学校それぞれで総合的な学習の時間に以下の学習を計画した。 - 小学校 稲作栽培、苧麻育（からむし）、郷土学習（伝統文化、伝統食）、自然教室 - 中学校 花育（カスミソウ）、苧麻育、郷土学習（伝統芸能、伝統食）、森林学習		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	400 千円	382 千円	講師に係る謝礼等
実績・成果 (数値等)	◎ 花育は、令和6年度も村産業係や花き振興協議会の指導で、本村農業の主力作物である宿根カスミソウについて、新規就農の状況や栽培から小売りまでの一連の体系について理解を深めることができた。 ◎ 令和6年度からは、小学校でも村の伝統産業のからむしについての学習機会を設けて、中学校との系統的な学習に取り組んだ。 ◎ 郷土学習では小学校は両原早乙女踊りの歴史などを学び、中学校では伝統食である「凍み餅」作りをおこない、郷土の理解を深めることができた。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	☒ さらに重点化する	☐ 継続実施する	☐ 改善見直しを検討する
	☐ 休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-⑤

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	⑤ 教育環境の整備充実		
事業の目的	○ 学校事故の未然防止に努め、万が一事故が起こった場合に迅速かつ適切に対応できる体制を整える。 ○ 通学時の安全対策、自然災害時の危機管理教育を充実させる。 ○ いじめの未然防止に努め、不登校児に対しては、家庭訪問やオンライン学習等を通して生活・学習面の支援をしながら、復帰に向けての望ましい環境づくりに努める。 ○ 感染症に対する正しい理解を基に、保健衛生環境の整備に努める。 ○ 教職員が安心して居住できる教員宿舎の維持管理に努めると共に、新しい宿舎建設にも着手する。 ○ 学校施設の老朽化に伴う修繕、改修を計画的に行うとともに、小中一貫校開設に伴う学校新築の検討を進めていく。		
事業の内容	○ いじめの防止等に関する機関及び団体の連絡調整を図る場として、昭和村いじめ問題対策連絡協議会を開催する。 ○ 教員宿舎新築工事は、令和7年4月には入居が可能となるよう、早期着工に努める。 ○ 老朽化に伴う昭和小学校校舎南側の外壁を補修する。 ○ 保育所・小学校・中学校・学校給食センターが一体となった新たな教育施設建設に向けた基本構想、基本計画の策定に着手する。		
事業費	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒と教職員		
事業費	令和6年度決算	前年度決算額	事業費の主な内容
	142,230 千円	19,985 千円	いじめ問題対策連絡協議会委員報酬、工事請負費等
実績・成果(数値等)	◎ いじめは確認されていないが、昭和村いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関相互の連絡調整を図った。 ◎ 教員宿舎新築工事(総工費1億2,320万円)は、財源に国の学校施設環境改善交付金(補助率1/2)と起債を充当し、一般財源を縮減して実施した。工事は6月初めに着工し令和7年3月上旬に完了した。 ◎ 昭和小学校外壁補修工事(総工費1,672万円)は、工期内の12月末に完了した。 ◎ 新たな教育施設建設は、村の方針として役場庁舎の新築と総合的に整備を行うことになり、教育委員会で予定していた計画では進めることができなかった。		
事業の(自己)評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
事業の方向性	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	達成できている(5) ☒ おおむね達成できている(3) 達成できていない(1)		
	15 3		
B (成果が上がっている)			
事業の方向性	☒ さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☐ 継続実施する	☐ 改善見直しを検討する

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-⑥

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	⑥ 心地よく子どもを育てられる環境づくり		
事業の目的	○ 保健連絡会を活用し、障がいのある子どもの早期の把握に努めると共に、個に応じたより良い特別支援の在り方を検討する。 ○ 特別支援学級の対象になり得る児童が在籍していることから特別支援員の確保に努めながら、特別支援学級の創設ができるように会津教育事務所と協議をしていく。 ○ 放課後児童クラブに活動場所を提供し、児童の安全安心な環境の整備に努める。		
事業の計画、内容	○ 学校長、養護教諭、行政の保健事業部門、保育所、教育委員で組織する保健連絡会で幼児期から子どもの特性に応じた支援を検討する。 ○ 特別な支援が必要な児童に対する施策の充実を図る。 ○ 放課後児童クラブの活動の場の提供と、社会教育分野との事業の連携も図る。		
事業の対象者	昭和小学校の児童とその保護者		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	1,058 千円	1,429 千円	・特別支援学級用教室改修費
実績・成果 (数値等)	◎ 保健連絡会は、保育所と小学校に出向いて乳幼児と児童の普段の様子を確認し、スムーズな就学につなげることができた。 ◎ 令和6年度には昭和小学校に特別支援学級(情緒障がい学級)が開設され、支援が必要な児童に対する教育環境がこれまで以上に整った。 ◎ 社会教育分野との連携では、放課後児童クラブと少年教室で4講座を共催して行うことができた。		
事業の (自己) 評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A (十分成果が上がっている)		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.1-⑦

基本計画名	1 学校教育		
重点施策名	⑦ 安全・安心な学校給食の充実		
事業の目的	☐ 地場産の食材を活用し安全安心な学校給食を提供する。 ☐ 栄養技師等を活用した食育指導の充実を図る。 ☐ 農業体験を通し、食への関心を促す。		
事業の計画、内容	☐ 週5回の米飯給食（麦ごはん）を実施する。なお、月1回程度は児童生徒から希望の多い麺やパンの給食も実施する。 ☐ 県産品等の地場産物の活用や旬の食材を中心とした献立とし、郷土料理や行事食、お楽しみ献立も実施する。 ☐ なるべく既製品は使わず手作りの給食を提供する。 ☐ 小学校では総合的な学習の時間に、代掻きから稲刈り、脱穀までの稲作体験を行う。		
事業の対象者	昭和小学校及び昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	16,026 千円	15,653 千円	学校給食センター運営費
実績・成果 (数値等)	☒ 令和6年度の地元産物の使用割合は、県内産が41.5%（前年度比△6.3ポイント）。村内産は11.5%（前年度比△3.5ポイント）だった。 ☒ 令和6年度から児童生徒の学校給食費を無償とした。 ☒ 食物アレルギー児童の対策として、令和7年2月から麦を抜いた白米ご飯に変更した。 ☒ 小学校の稲作体験は、農家の指導を受けながら代かき、田植え、稲刈り、脱穀の体験を行い、最後は保護者や指導農家と一緒に収穫祭を開催した。 ☒ 食物アレルギーの児童生徒は給食の代替として保護者が弁当を持参させるしかなく、経済的負担が生じていることから、負担軽減策の検討が必要である。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価
委員の意見、
助言

食物アレルギー児童生徒の対策は大変助かっている、との声を聞いている。

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.2-①

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	① 少年教室の企画運営		
事業の目的	小学校や保健福祉課、老人クラブ等と連携し、好奇心と実体験を大切に楽しく学べる機会を創出し、子どもの育成を図る。		
事業の計画、内容	○ 社会教育指導員が主体となって活動計画を以下のとおり企画し、実行する。 ・ 地域の文化や自然、行事体験（陶芸教室、星空観察、天神講） ・ 親子での活動（料理教室、自然体験） ・ 近隣町村との交流（山っ子スクール、スキー教室） ・ 世代間の交流（ニュースポーツ交流会） ・ 村外での体験活動（会津自然の家など）		
事業の対象者	昭和小学校児童及びその保護者		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	4,282 千円	3,258 千円	社会教育指導員の人件費（報酬、手当、共済費）
実績・成果（数値等）	◎ 保育所や放課後児童クラブ、老人クラブと連携したプログラムを開催し、異世代交流も図ることができた。 ◎ 教室は全15回開催し毎回平均16人程の参加者があり、その活動内容は村内での活動にとどまらず近隣町村の児童との交流や、村外にも活動の場を広げるなど、学校教育とは違う貴重な体験を行うことができた。		
事業の（自己）評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)			
20			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
休止、廃止を検討する			

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.2-②

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	② 生涯学習講座と千歳学級の開催		
事業の目的	村民の学習ニーズに沿った講座等を開催することにより村民の積極的な学習を促すとともに、様々な方面にわたる知識を深め、多様な趣味や生きがいづくりを推進する。		
事業の計画、内容	☐ 生涯学習講座 ・ 英会話教室（全11回） ・ 矢ノ原湿原勉強会（全6回） ・ 昭和学講座（全6回） ・ 刃物研ぎ教室（全2回） ・ 寄せ植え教室、陶芸教室、アクセサリ教室、蕎麦打ち教室、しめ飾り作り教室	☐ 千歳学級（高齢者学級） ・ 芸術・美術等鑑賞会（全3回） ・ 健康教室（全2回） ・ 村外研修（2回） ・ 奏筆教室 ・ スマホ教室 ・ ニュースポーツ大会 ・ 交通安全教室	
事業の対象者	全村民及び高齢者		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	2,741 千円	124 千円	報償費（講座の講師謝礼）、床張替工事費
実績・成果（数値等）	◎ 生涯学習講座は各回とも10名以上の参加者があり、新しい知識や趣味開拓だけでなく、受講生同士の交流の場にもなった。 ◎ 千歳学級は対象者のニーズが高いテーマの講座を開催するとともに、県内で開催される様々な企画展やイベントの鑑賞会を中心に企画し、受講生同士が楽しみながら交流するとともに、生きがいづくりや趣味を広げることなどに寄与できた。 ◎ 社会教育事業の拠点施設である昭和村公民館は、築年数34年を経過し床材（カーペット）が著しく傷んでいたことから、1階部分のカーペット張替工事（総工費247万5千円）を行った。なお、残りの場所は翌年度に実施したい。		
事業の（自己）評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)			
20			
A （十分成果が上がっている）			
事業の方向性	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.2-③

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	③ 昭和村民文化祭と芸術鑑賞会の開催		
事業の目的	作品展や芸能発表など練習してきた成果を発表する場を設けるとともに、演劇と音楽の公演を開催し芸術文化に触れる機会を設け、村民の芸術文化振興を図る。		
事業の計画、内容	○ 11月を文化芸術月間として、様々な文化、芸術に関する催しを企画する。 ・ 小中学校文化祭 ・ 村民作品展と舞台発表会 ・ シネマ上映会 ・ 会津西部巡回美術展 ・ eスポーツ体験交流会 ・ 電子図書館1周年記念事業		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	570 千円	687 千円	報償費（文化祭、芸術文化鑑賞事業）など
実績・成果（数値等）	◎ 小中学校文化祭と村民の作品展、舞台発表会は文化の日を中心に開催し、延べ400人を超える多くの村民で賑わった。特に小中学校文化祭は小中連携教育を村民に発表する場として効果があった。 ◎ シネマ上映会は近年話題となった2作品を上映し、50人以上の村民が来館した。映画館と同様の迫力ある作品鑑賞会となった。 ◎ 両沼管内4町村の住民の作品が一堂に会した会津西部巡回美術展は、2日間で30名以上が鑑賞し、優れた作品に触れる良い機会となった。 ◎ オリンピックの公式競技にも採用されたeスポーツの体験には、子どもからお年寄りまで20人以上が来場し、世代間交流も併せて図ることができた。 ◎ 電子図書館1周年記念イベントは残念ながら参加者はなかった。		
事業の（自己）評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
達成できている(5) ☒ おおむね達成できている(3) 達成できていない(1)			
15 3			
B （ 成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価委員の意見、助言	小中学校文化祭で披露される昭和太鼓は、今後も継承を望む。
----------------	------------------------------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.2-④

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	④ 昭和村文化協会加盟団体の支援		
事業の目的	広域的な「会津西部総合演芸大会」や「会津西部巡回美術展」等への参加も促しながら、団体が積極的に活動できるよう支援する。		
事業の計画、内容	☐ 加盟団体へ補助金を交付して活動の支援を行う。 ☐ 会津西部巡回美術展の開催と協会加盟団体への作品出品支援を行う。		
事業の対象者	昭和村文化協会加盟団体		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	330 千円	360 千円	昭和村文化協会補助金
実績・成果 (数値等)	☒ 昭和村文化協会への支援 加盟団体は11団体で、そのうち休会の団体を除く9団体へ活動の支援として補助金を交付し、それぞれの団体活動が行われた。 高齢化などで休会や解散になる団体が出てきているなど、新規加盟団体の確保が課題となっている。 ☒ 第26回会津西部巡回美術展 期間は11月9日から12月1日17日までで、昭和村、柳津町、三島町、金山町を巡回して開催した。昭和村文化協会加盟会員のうち22名が書や写真などの作品を出品し、4町村の住民に日頃の成果を発表することができた。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)			
20			
A （ 十分成果が上がっている ）			
事業の方向性	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価 委員の意見、 助言	特になし。
------------------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.2-⑤

基本計画名	2 社会教育		
重点施策名	⑤ 村民の読書の機会の普及推進		
事業の目的	村民が読書に親しみ、書物を通して多様な学びができるよう、図書室の蔵書の充実を図り、併せて電子図書館サービスの導入を図り、読書の普及と推進に努める。		
事業の計画、内容	○ 公民館図書室は、話題の図書や利用者からの声を参考に蔵書の購入を行う。 ○ 県立図書館移動図書館あづま号からの貸し出しを活用して公民館図書室の充実を図る。 ○ 電子図書館は昭和村電子図書館蔵書計画（令和6～10年度）に基づき蔵書を充実させ、村民が読書に親しむ環境の向上を図る。		
事業の対象者	全村民（一部村内在勤者）		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	1,524 千円	19,579 千円	公民館図書購入費、電子図書館導入費、図書館協会負担金
実績・成果（数値等）	◎ 公民館図書室 ・ 貸出冊数：延べ512冊／利用者数：延べ231人 ・ 利用者の声を反映した選書を心がけて新しい図書を21冊購入した。 ・ 10月のあづま号来館時には保育所及び小学校低学年の児童向けに「おはなし会」を開催して、本に親しむ取り組みを行った。 ◎ 昭和村電子図書館 ・ 利用登録者数：181人／貸出冊数：延べ509冊 ・ 蔵書数：13,103冊 ・ 毎月、新刊から話題性のあるもの、利用者ニーズのあるもの、社会教育や学校教育で活用できる図書を選書して、村公式LINE等で新入荷の周知を図った。 ・ 複数自治体での共同運用を目指し周知を行っているが、成果はまだ表れていない。		
事業の（自己）評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
達成できている(5) ☒ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)			
15 3			
B （ 成果が上がっている ）			
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 休止、廃止を検討する	☐ 継続実施する	☐ 改善見直しを検討する

教育行政評価
委員の意見、
助言

電子図書館の利用登録者数が伸び悩んでいるのは意外だった。行政のDX部門と連携した取り組みで利用状況のアップを。

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.3-①

基本計画名	3 生涯スポーツ		
重点施策名	① 村民のスポーツ参加を促す		
事業の目的	スポーツ推進委員と協力し、昭和村総合運動会をはじめとする各種スポーツ大会や、福島県地域スポーツ大会、市町村対抗野球大会、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会等への村民の参加を促すとともに、日頃からスポーツに親しむ機会を創出する。		
事業の計画、内容	○ スポーツ推進委員が中心になり、村民のスポーツ振興をはかる。 ○ 村民の健康増進と親睦を図るための各種大会を体育団体と連携し開催する。 ・ 昭和村総合運動会 ・ 昭和村民球技大会 ○ 県内で行われるスポーツ大会への参加を促進する。 ・ 福島県地域スポーツ大会 ・ 福島県市町村対抗軟式野球大会 ・ 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	692 千円	569 千円	大会負担金、選手消耗品など
実績・成果 (数値等)	◎ 昭和村総合運動会は保育所から一般村民まで約200名の参加者で盛会に開催された。 ◎ 昭和村民球技大会は日程の確保が困難となり開催できなかった。 ◎ 福島県地域スポーツ大会は、壮年ソフトボールと家庭バレーボールの種目に出場し、家庭バレーボールは両沼大会を勝ち抜き、会津大会へ出場を果たした。年々、競技人口が減ってきていることが課題。 ◎ 福島県市町村対抗軟式野球大会は選手が集まらず棄権になった。 ◎ ふくしま駅伝には、本村は希望ふくしまチーム（7町村合同チーム）に参画し、本村からは1人（昭和の小教員）が出場。チームの躍進に貢献した。後継者の育成が課題。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与している(5) ☒ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	達成できている(5)	おおむね達成できている(3)	☒ 達成できていない(1)
	10	3	1
	C （ 改善の余地が多い ）		
事業の方向性	さらに重点化する	継続実施する	☒ 改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	競技人口減少対策として、家庭バレーボールから、気軽にできるソフトバレーボールなどへの種目の転換も必要。
----------------	---

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.4-①

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	① 昭和村文化財保護審議委員会の活動の充実		
事業の目的	村指定文化財の巡視や点検の他、新たな指定に関する検討及び村内の文化財や遺跡等の調査と保護を行う。		
事業の計画、内容	○ 村指定文化財の看板設置と修繕 令和5年度に新たに村指定天然記念物に指定した「イチイの木（小中津川）」に指定の看板を設置し、他の看板類は破損等がないか巡回し、必要であれば修繕を行う。 ○ 旧名主の佐々木家住宅の調査 文化庁の登録文化財建造物候補物件の現地調査を依頼し、文化財調査官から歴史的価値の有無や文化財指定についての指導とアドバイスを受けることとする。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	220 千円	206 千円	委員報償費、文化財看板経費など
実績・成果 (数値等)	◎ 村指定文化財の看板設置及び修繕は計画どおり行った。 ◎ 旧名主の佐々木家住宅は6月に文化財調査官が来村し、当委員会委員4名も立会い現地で調査し次のような指導、アドバイスを受けた。 ・ 江戸時代の建物で歴史的価値はある。国登録有形文化財の検討は十分可能。しかし、相当傷んでおり補強や修繕が必要。登録して数年で倒壊や解体にならないような対処をすること。修繕はなるべく当時の部材を活用し大きさや間取りは変更しないこと。現状と規模から費用は高額になる。登録された後も維持管理等は大変だろう。当該物件ではなく「喰丸小」を申請してはどうだろうか。 ◎ 文化財調査官のアドバイスから「喰丸小」を国登録有形文化財建造物に登録することを決定し、佐々木家住宅の今後の在り方については、当委員会で継続協議とした。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.4-②

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	② 駒止湿原の保護と活用		
事業の目的	国指定天然記念物「駒止湿原」は、南会津町及び駒止湿原保護協議会並びに駒止湿原案内の会と連携し、管理と整備を行いながら保護と活用を図る。		
事業の計画、内容	○ 盗掘や踏み荒らし防止、散策マナー啓発、獣害被害対策のための監視活動と保護啓発活動の実施及び入山者の自然環境保護の意識向上を図る。 ○ 湿原内に侵入した外来植物の防除。 ○ ニホンジカとイノシシの侵入及び湿原植物への被害を抑えるため、ワイヤーメッシュ柵と防鹿柵を設置するとともに、湿原内に赤外線センサーカメラを設置し、生息密度及び進入路などのモニタリング調査を行う。 ○ 木道の修繕や補修を行い、入山者の安全と湿原の保護を図る。 ○ 駒止湿原保存管理計画の見直し検討会議の開催。		
事業の対象者	全村民及び隣接する地域の住民など		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	1,700 千円	1,600 千円	駒止湿原保護協議会負担金
実績・成果 (数値等)	◎ 5月25日の開山から10月31日の閉山の間、駒止湿原案内の会に委託し、160日間、毎日監視業務を行った。特に事件などは発生しなかった。 ◎ 外来植物の防除、除去を南会津町の湿原を守る会の協力で6月に実施した。 ◎ 木道の修理と修繕を要する箇所の把握を行った。 ◎ ニホンジカ用の防鹿柵を南会津町の湿原を守る会に委託し、開山期間中設置し見回りや点検を定期的に実施した。 ◎ イノシシの食害と掘り起こし対策として、開山期間中はワイヤーメッシュ柵を設置し被害軽減を図った。 ◎ 赤外線センサーカメラ19台を設置し、ニホンジカ、イノシシの生息数推定調査を行ったところ、シカの密度は減っていた。対策の成果が表れていると思われる。 ◎ 保存管理計画見直し検討会は5回開催し、次年度も継続開催とする。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.4-③

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	③ 矢ノ原湿原の調査や保護		
事業の目的	福島大学等の動植物及び生態系を研究している専門家と連携し、村天然記念物で県自然環境保全地域「矢ノ原湿原」の調査や保護を行う。		
事業の計画、内容	☐ 生涯学習講座の一環として、矢ノ原湿原勉強会を開催する。 ☐ 湿原内の外来植物の駆除を実施する。 ☐ 月に2回、湿原内の保護と監視のため監視活動を行う。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	57 千円	272 千円	保護監視業務委託料、修繕費
実績・成果 (数値等)	◎ 福島県植物研究会の二瓶氏を講師に矢ノ原湿原勉強会を合計5回開催。延べ64人の参加があった。植物とその保護について理解を深めることができた。 ◎ 福島大学黒沢教授や福島県植物研究会の二瓶氏の協力で、6月から10月まで延べ5日間、外来植物の観賞用スイレン駆除を実施して、約3kgの量を駆除した。 ◎ 保護監視業務に1名を委託し、4月から11月まで月2回実施した。盗採などの事案はなかったが、ナラ枯れによる倒木と木道の破損が数か所確認された。令和7年度に伐採と修繕を実施する。		
事業の (自己) 評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)			
20			
A (十分成果が上がっている)			
事業の方向性	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価 委員の意見、 助言	特になし。
------------------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.4-④

基本計画名	4 歴史・文化		
重点施策名	④ 民具の整理・保存及び活用の検討		
事業の目的	大学等と連携し、昭和村小野川生涯学習センターに保管してある民具の整理・保存及び活用を検討する。		
事業の計画、内容	○ 村民などから受け入れた民具の整理作業を今年度も継続するとともに、整理済みの民具の活用として、昭和村民文化祭で展示を行う。 ○ 只見川電源流域振興協議会事業の「奥会津デジタルアーカイブ」に掲載する民具のアーカイブ化を開始する。 ※ デジタルアーカイブ：民具の情報を長期保存することを目的としてデジタル化すること。		
事業の対象者	全村民		
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	731 千円	197 千円	民具整理作業委託料
実績・成果 (数値等)	◎ 事務補助員2人に整理作業を委託し、作業は順調に進捗している。また、今年度は村内から33点の新たな民具の寄贈があった。 ◎ 昭和村民文化祭で「雪国昭和村を支えた冬の民具展」を開催し、多くの村民が民具に対する理解を深めることができた。 ◎ 奥会津デジタルアーカイブ用のデータ化は、約2,000点のうち3割が完了した。 ◎ 現在の収蔵場所の小野川生涯学習センターは手狭になったことから、不要な収蔵物の廃棄も行わなければならない。さらに、収蔵環境が悪いため展示と活用も可能な新たな施設の検討も進めなければならない。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	継続実施する	☒ 改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.5-①

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	① ALT(外国語指導助手)の配置		
事業の目的	ALT(外国語指導助手)を配置し、子どもたちが確かな英語力を習得し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指す。		
事業の計画、内容	○ 昭和中学校と昭和小学校の英語科の支援を行う。		
事業の対象者	昭和小学校と昭和中学校の児童生徒		
事業費	令和6年度決算額 4,244 千円	前年度決算額 5,076 千円	事業費の主な内容 ALT人件費、旅費、消耗品費、自動車共済、JET負担金など
実績・成果 (数値等)	○ 昨年度から引き続きアレクサンドラ氏を雇用して児童生徒の学習支援にあたった。 ○ 実用英語技能検定では昭和中学校の全校生徒12名中、3級1人、4級3人、5級3人が合格するなど、ALT配置の成果が現れている。		
事業の (自己) 評価	必要性(住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。)		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性(施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性(最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。)		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
事業の方向性	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	20		
事業の方向性	A (十分成果が上がっている)		
	さらに重点化する 休止、廃止を検討する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.5-②

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	② ブリティッシュヒルズ英語研修の実施		
事業の目的	外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、児童生徒を語学研修施設へ派遣する。		
事業の計画、内容	日帰りあるいは一泊程度の語学研修では、英語によるコミュニケーション能力の育成に効果があるのか疑問であり、また、学校の教育課程を編成する上で日程の確保も困難なことから、令和5年度限りで事業を廃止した。		
事業の対象者			
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	千円	109 千円	
実績・成果 (数値等)	事業は行わなかった。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	十分必要である(5)	おおむね必要である(3)	あまり必要でない(1)
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	十分寄与している(5)	おおむね寄与している(3)	あまり寄与していない(1)
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	十分できている(5)	おおむねできている(3)	できていない(1)
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	達成できている(5)	おおむね達成できている(3)	達成できていない(1)
#N/A			
事業の方向性	さらに重点化する	継続実施する	改善見直しを検討する
	■ 休止、廃止を検討する	(令和5年度で事業を廃止した)	

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------

令和6年度重点施策の事業評価シート

No.5-③

基本計画名	5 国際理解		
重点施策名	③ 生涯学習「英会話教室」の開催		
事業の目的	A L T（外国語指導助手）を講師として大人の英会話教室を開催し、英会話の学習を通じて多様性と互いを尊重する機会を創出する。		
事業の計画、内容	生涯学習講座の一つとして、A L Tと社会教育指導員が内容を協議し、教室を年間10回程度開催する。		
事業の対象者			
事業費	令和6年度決算額	前年度決算額	事業費の主な内容
	4,244 千円	5,076 千円	(5)-①の再掲
実績・成果 (数値等)	教室は5月から翌年3月まで毎月1回開催し、延べ67名が受講した。 A L Tの親しみやすい指導内容は受講生から好評で、村民の英語力向上と国際理解が深まる機会となっている。		
事業の (自己) 評価	必要性（住民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業を行う必要があるかどうか。）		
	☒ 十分必要である(5) ☐ おおむね必要である(3) ☐ あまり必要でない(1)		
	有効性（施策や運営方針等、村振興計画の目的実現にどの程度寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与している(5) ☐ おおむね寄与している(3) ☐ あまり寄与していない(1)		
	経済・効率性（最小の経費で最大の効果が発揮されているか。事務作業には無駄がないか。）		
	☒ 十分できている(5) ☐ おおむねできている(3) ☐ できていない(1)		
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
事業の方向性	☒ 達成できている(5) ☐ おおむね達成できている(3) ☐ 達成できていない(1)		
	A （ 十分成果が上がっている ）		
事業の方向性	さらに重点化する	☒ 継続実施する	改善見直しを検討する
	休止、廃止を検討する		

教育行政評価委員の意見、助言	特になし。
----------------	-------